

令和6年4月16日(火)10:00~
朝霞市立朝霞第三中学校

令和6年度 第1回学校運営協議会

【司会:教頭 記録:主幹】

1 開会のことば

2 学校長あいさつ

3 任命状交付

4 自己紹介

5 協議内容

- (1) 令和6年度 学校経営の構想及び方針について
- (2) 令和6年度 「地域と共にある学校について(熟議「良い学校とは」)
- (3) その他

6 連絡

- (1) 第2回学校運営協議会 日程について
- (2) その他
・朝霞市教育委員会教育管理課より

7 閉会のことば

1 はじめに

AIなどの進展により社会が大きく変わる中で、学校教育も大きく変わらなければいけない時代が来ています。今の生徒たちが中核となる10年後、20年後の未来を考えた時、今は存在しない課題や問題に対して、遅く主体的に対応していく力が求められています。文科省が掲げている「令和の日本型学校教育」の中では、「全ての子供たちの可能性を引き出す、個別最適な学びと、協働的な学びの実現」が求められており、新型コロナ感染症の影響により、一気にその整備が進んだGIGAスクール構想も「まず使う」段階から「効果的に使う」段階にきています。こういった流れを受けて、学習指導要領の趣旨として掲げている「主体的・対話的で深い学び」を実現するため、タブレット端末等のICT機器やAIドリルの効果的な活用と充実、指導内容・指導方法の工夫改善を継続し、社会の変化に主体的に対応できる逞しい人間を育成しなければなりません。

保護者や地域の願いは、①社会の変化に主体的に対応できる能力の育成（学力の向上）、②社会生活に必要な人間的資質の育成、③困難な状況でも粘り強く頑張り抜ける逞しい心身の育成です。保護者・地域の願いを実現し信頼関係を高めていくためには、これまで培ってきた朝霞三中としての伝統の継承と令和の教育改革を融合させ、新しい朝霞三中としての教育を創造していかなければいけません。

その為にも、生徒・教職員・保護者・地域がしっかりとつながり、英知を集結して、魅力ある教育課程（教育計画）を実施していきましょう。

言うまでもなく、**学校教育の中核は授業**です。各教科・領域の特性を活かして「確かな学力」、「豊かな心」、「健やかな体」をバランス良く育むことが学校の責務です（**授業での「人づくり」**）。日々の授業の積み上げが、学力・体力・人間性など生徒の資質・能力の向上に直結し、信頼される学校にもつながっていきます。教師という仕事は「**人づくりであり、未来づくり**」です。その為、私が大切にしたいことが「**育つ**」ということです。

2 私の学校経営理念・経営テーマ 「育つ」学校

(1) 「育てる」のではなく「育つ」

学校は、本来「育つ」場所である。学校ではよく「育てる＝育成」という言葉が使われるが、その言葉には他から「育ててもらおう」という他律的な意味を感じます。様々な出会いや出来事を通して、自らの力で、自ら「育つ」そんな学校でありたい。そのために私は「**5つのカン（感性、環境、感化、感謝、感動）**」が必要であると考えます。生徒も教職員も、一人一人が素晴らしい個性（「らしさ」）を持っています。そんなを「らしさ」思いっきり発揮して、「チーム三中」として、三中にしかできない素晴らしいハーモニー（「育つ」環境）をつくっていきましょう。

(2) 「育つ学校」とは

みんな未完成、だからこそ、みんなが育つ学校でありたい。

- ・生徒が育つ 生徒の成長…「生きる力」が身につく。
- ・教師が育つ 教師の成長…「指導力」が身につく。
- ・保護者も育つ 親としての成長…子育てを通しての生きがいにつながる。
- ・地域も育つ 地域は子供たちが活躍する場。地域なしに、学校はありえない。「子供は学校で学び、地域で育つ。子供は学校の、そして地域の宝物」でもある。

(3)その枕詞は、「誰もが」「みんなが」

この「育つ」の枕詞は、「誰もが」「みんなが」です。「育たなくていい」という人はいません。一人一人が「今よりも、ちょっと前進」という気持ちをもって取り組んでいくことが大切です。しかし、「育つ」のには、人それぞれスピードが違うのも事実です。早い、遅いではなく、そんな違いも互いに認め合いながら、みんなで「育っていく」そんな学校をつくっていきましょう。

3 学校教育目標

真理を求め、進んで学習する生徒 自ら考え、責任を持って行動する生徒 心身ともにたくましい生徒	}	目指す生徒像
---	---	---------------

4 目指す生徒像・学校像・教師像

(1) 目指す生徒像 学校教育目標に掲げる生徒

(2) 目指す学校像 **一人一人が輝き みんなが「育つ」学校**

<学校経営方針>

- ・学校教育目標、目指す学校像を実現するために、生徒、教職員が自分らしさを組織的に発揮し、教育活動を実施する。
- ・授業、行事、係・委員会活動、部活動等の学校生活で、一人一人が輝くことができる学校にする。
- ・わかった、できた、やれた、心が1つになったなど、体験・活動による感動を感じ、自分の「育つ」を実感できる学校にする。
- ・それぞれの「らしさ」を認め合い、生かし合える学校にする。

(3) 目指す教師像

生徒・保護者・地域から信頼される教師

「生徒にとって教師は一番の教育環境」です。生徒に寄り添い教育的愛情を注ぐ教員、生徒の「(自ら)育つ」を支援できる教員でありたい。

○ 授業に情熱を注ぎ、**楽しい授業**を実践する教師

- ※ 楽しい授業とは…「**わかる・できる**」を実感する授業、「**刺激**」のある授業、生徒が主体的になれる授業(「答え」を与えるのではなく、「問い」を与える。)

※ 授業の要点…「**主体的・対話的で深い学び**」

個別最適な学び・協働的な学び

(ICT機器やAIドリル等の効果的な活用)

個に応じた指導(指導の個別化と学習の個性化)

- 生徒に寄り添い、きめ細かな指導ができる教師(※学習指導は「積極的な生徒指導」)
- 人間的な魅力にあふれ、生徒とともに「(自らも)育つ」教師(「学び続ける教師」)
- 自他の「らしさ」を認め、生かし合い、自分の「らしさ」を力に変えられる教師
- **セルフ・マネジメント**ができ、心身ともに健康で逞しい教師
- 教育公務員として、自覚と誇りを持つ教師(**教職員事故の絶無**)

5 今年度の重点目標

(1)学習指導の充実と学力の向上

- 学習指導要領の着実な実施
 - ・ **楽しい授業（わかる・できる・刺激）** の実践
 - ・ 「**主体的・対話的で深い学び**」を実現する授業
 - ・ **個別最適な学び・協働的な学び** ①タブレット端末やA Iドリル等の効果的な活用
②指導の個別化と学習の個性化
③全ての生徒の可能性を引き出し、伸ばす指導

- ・ 朝三中生の学びを支える「**授業の5ヶ条**」の構築
 - 第1条 学習のめあてと、見通しを明らかにする
 - 第2条 生徒が自分で考える時間を設ける
 - 第3条 生徒が表現し、交流する場を設ける
 - 第4条 学んだことを活用する場を設ける
 - 第5条 学習のまとめと、振り返りの時間を設ける

- 授業規律の徹底
 - ・ 「時を守り 場を清め 礼を尽くす」は重要、ただし、これだけにならない。
- 校内研修の充実と指導力の向上

(2)学年・学級経営と生徒指導・教育相談の充実

- 生徒の特性を理解し、良さを生かした学年・学級経営（自己有用感の醸成）
- いじめ、不登校、問題行動の認識、そして、予防・早期発見・早期解決
- 組織（チームワーク・フットワーク・ネットワーク）を生かした迅速で丁寧な生徒指導
 - ・ 報告・連絡・相談・見届けの徹底と組織的な対応
 - ・ 教育委員会、警察、児童相談所等の関係機関との連携
- 保護者との連携による生徒指導の徹底
 - ・ 迅速で適確な初期対応

(3)道徳教育・人権教育の充実

- 道徳的な心情、判断力、態度を育成する道徳授業の実践
 - ・ 道徳的価値の自覚及び自己の生き方について考えを深める授業
 - ・ 「考え、議論する道徳」の実践と共感的な態度の育成
- 人権意識の醸成と他人を思いやる豊かな人間性の育成
 - ・ それぞれの「らしさ(個性・特長)」を認め、生かし合う風土の醸成
 - ・ いじめの防止・早期発見・迅速な対応・問題解消の見届け

(4)体力向上と健康増進

- 「わかった」「できた」「楽しい」についてくる体力向上
- 体育授業・体育的活動等の工夫と充実
- 保健指導の充実と感染症予防の徹底
- 食育・給食指導の充実

(5)進路指導・キャリア教育の充実

- 望ましい勤労観、職業観の育成
- 主体的な進路選択と希望する進路の実現

(6)特別支援教育の充実と配慮を要する生徒の支援

- インクルーシブ教育の理解と推進
- 特別支援学級の尊重と交流授業の推進
- 通常学級における配慮が必要な生徒への支援
- 関係諸機関との連携（朝霞市、県立学校、医療機関など）

(7)学校・家庭・地域が一体となった教育の実施

- 地域とともにある学校(コミュニティスクール)の充実
- P T Aや学校応援団等との連携
- 地域の力を学校へ、学校の力を地域へ、相互の力の活用
- 学校公開、学級懇談会、各種たより、学校メール、ホームページによる情報の発信

(8)働き方改革(業務改善とセルフ・マネジメント)の推進と教職員の健康維持

- 「時間外在校時間 月45時間以下年間360時間以下」（県教委 R6 年度目標）を目指す
- 午前7時半後の出勤と午後8時までの退勤と施錠の徹底

(9)学校事故防止の徹底(信頼される学校づくりの再構築)

- ◎ 常に教育公務員としての自覚と誇りを持ち、自らを見つめる姿勢の徹底
- ◎ 「～だろう」というバイアスを持たず、互いに気軽に確認し合える関係性の構築
- ◎ 風通しの良い職場環境 「居心地の良さ」以上に「し心地の良さ」を

【令和6年度 勤務時間の割り振り(案)】

- (1) 勤務開始 8 : 2 0 勤務終了 1 6 : 5 0 7 時間 4 5 分勤務
- (2) 休憩時間 担 任 : 1 3 : 1 0 ~ 1 3 : 3 0 (2 0 分)
- 副担任 : 1 2 : 5 0 ~ 1 3 : 1 0 (2 0 分)
- 全 員 : 1 6 : 1 0 ~ 1 6 : 3 5 (2 5 分) 合計 4 5 分

※長期休業中 勤務開始 8 : 3 0 勤務終了 1 7 : 0 0
 休憩時間 1 2 : 1 5 ~ 1 3 : 0 0 (4 5 分間)